

調査概要**松江堀川水系の外来種（主にアカミミガメ）の防除研究**

城山内堀川南部を主な調査場所とし、松江城を囲む堀川にて外来種（主にアカミミガメ）を調べ、ワナなどによる捕獲調査等を行う。

- ・調査時期：4月～11月上旬

月曜日：ワナ設置・捕獲生物回収 10：00～13：00

金曜日：捕獲生物回収・ワナ再設置 10：00～14：00

※祝祭日等の場合は、ずらして行う。

5/17 はホーランエンヤの為調査休止。

- ・調査内容：1. 外来種（主にアカミミガメ）のワナによる捕獲調査
 ※調査にあたっては調査周知看板を設置。
 大雨など荒天予想時にはワナを一時的に撤去。
- 2. カメ類の分布とマーキング放流による河川間移動調査
 （クサガメは No.671～、ニホンイシガメは No.42～）
- 3. 外来生物低密度化による自然環境復元等の経過調査
 （在来生物の種数増減、景観変化の記録）
- 4. カメ類の CPT 分布密度調査
- 5. カメ類の繁殖場所調査：城山内堀川南部・中川
- 6. 産卵場に現れる生物の撮影。
 （自動撮影カメラの設置 2 台：城山内堀川南部）
- 7. アカミミガメの成熟メスを解剖し、個体の卵保有率調査



カメ類の繁殖場所調査：城山内堀川南部・中川（6月～8月）



自動撮影カメラの設置 2 台
 城山内堀川南部（4月～11月）



個体の卵保有率調査（5月～8月）

外来種（主にアカミミガメ）のワナによる捕獲調査

調査地点



生きもの 調査中

松江市内の河川では、外来種のアカミミガメが増えて、日本固有の生きものたちに影響が出ています。その状況を調べるため、調査看板を設置しています。

アカミミガメの調査種、ニホヒメガメ、シラガメ、スズメガメ

アカミミガメは調査種以外の動物も捕まえてしまう可能性があります。アカミミガメの調査種以外の動物も捕まえてしまう可能性があります。アカミミガメの調査種以外の動物も捕まえてしまう可能性があります。

生きものには毎日観察カードを設置し、観察カードに記入していただき、観察カードを回収していただきます。

調査看板の設置場所は、調査看板の設置場所は、調査看板の設置場所は。

全箇所に周知看板を設置

調査使用ワナ数

調査位置	浮型カゴ	延長型カゴ	遮光型カゴ長	遮光型カゴ短	合計
①城山内堀川南部	2	2	2		6
②北田川 済橋付近				4	4
③中川		2		4	6
④比津川	2				2



延長型カゴワナ



浮き型カゴワナ



遮光型カゴワナ長



遮光型カゴワナ短